

リハビリニュースNo.52

～手をついた場合の外傷について～

以前転倒における外傷を紹介しましたが、今回は主に手をついて倒れた時に手関節周囲に起こる外傷について紹介します。

*コーレス骨折についてはリハビリニュースNo.21 をご参照ください。

【☆手関節周囲の骨折☆】

骨折名	特徴
① 舟状骨骨折	手根骨骨折で最も多く、手掌を衝き転倒した際に発生する。また、骨折線の発見が困難なため、捻挫や打撲と処置される場合が多い。 *無腐性壊死の可能性あり。
② 月状骨骨折	受傷自体は少ないが、手関節部の衝撃や負担が多い職業の人で男性の利き手に比較的多い。また、無腐性壊死を起こすこともある。
③ Smith 骨折	発生頻度はまれな骨折で、手背を衝き転倒した際に発生する。また、オートバイ事故により生ずる場合もある。

*無腐性壊死：骨の栄養血行が遮断されることにより骨が壊死に陥ることです。

《骨折の共通症状》

患部の



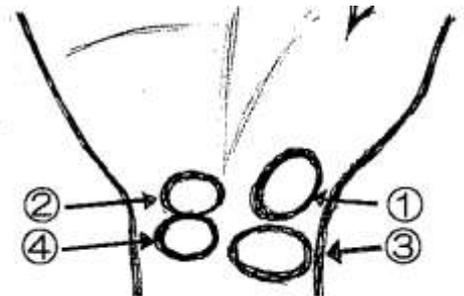
【右手】

《小指側》

《親指側》

月状骨
TFCC

舟状骨
橈骨



【☆④TFCC（三角線維軟骨複合体）損傷☆】

発生機序	外傷性単独損傷、橈骨遠位端部骨折に伴う損傷、あるいは加齢に伴う変性などがあります。
症状	患部の圧痛、腫脹、熱感、最大回内・回外（内・外側に手関節を捻じる）時に疼痛を訴えます。その際、手関節を小指側に曲げると疼痛が増強します。
作用	リハビリニュースNo.44 をご参照ください。

*この疾患は画像発見が困難な上、症状が軽度の場合本人も気づかないこともある。

《治療法》

骨折に関してはリハビリニュースNo.16 をご参照ください。TFCC 損傷は装具（保存療法）により改善するものが多く、リハビリでは主に固定期間における筋力や筋の柔軟性低下、拘縮などに対して筋力増強訓練や関節可動域訓練を行います。症状が重度の場合、手術を行う場合もあります。

舟状骨・月状骨骨折は上述の特徴の影響があるため、一概に骨癒合期間は決められません。今回の外傷の特徴として、捻挫と勘違いする機会が多いため、上述の症状がある場合すぐに受診することをお勧めします。また受傷後組織が修復しても、手関節不安定感が残る可能性があるため、日常生活で患部への負担軽減に注意することや、転倒の予防が大切になります。